

平成30年度 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	2	学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	1	あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策名称	3	学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進		
施策の方向性	●開かれた学校・信頼される学校を目指して、学校・家庭・地域が協働して教育する「コミュニティ・スクール」等の仕組みづくりを推進します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	コミュニティ・スクール導入校数	校	目標値		3	7	7	7	7
			実績値	1	1	1	7		
			達成状況		未達成	未達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

全小中学校にコミュニティ・スクールが配置できました。

・評価及び対応方針

全校配置はできましたが、理解度が低い学校もあるため、引き続き各校においてコミュニティ・スクールの理解を求める必要があります。

作成担当部長 教育部長 榎並 隆浩

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	コミュニティ・スクール推進事業	531
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	学校運営改善推進事業	7,086
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				7,617

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	コミュニティ・スクール推進事業	事業番号	213101
担当部署名	教育委員会	学校教育課	
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1 あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策	3 学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進		

2. 事業概要

学校・家庭・地域が一体となり、協働して児童・生徒を育むコミュニティ・スクール（地域とともにある学校）を全ての小中学校（既導入済1校）へ導入します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 全小中学校に地域の力を学校教育に生かすコミュニティ・スクールを導入し、子どもを中心に据えた学校と地域の連携により、学校の組織運営体制を確立します。 ○ 学校と保護者、地域住民が子どもたちの課題や学校の目標を共有し、一体となって地域の子どもの豊かな育ちを支援することで、学校が地域の大人の学びの場、生きがいの場となるとともに、将来の地域を支える担い手を育てることにつなげます。 ○ 学校を核とした地域コミュニティづくりにつながるよう、コミュニティ・スクールを推進します。（コミュニティ・スクール導入校7校）	○ 町内全7校にコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりをスタートさせました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	学校の教育を信頼(満足)していると答える保護者の割合	%	目標値	88.0	88.0	89.0	89.0	90.0
			実績値	90.2	91.1	93.1		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		地域の力を学校教育に生かすことを目的としているため、学校の教育を信頼（満足）していると答える保護者の割合を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	599	0	0	0	0	599
決算	531	0	0	0	0	531

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

町内小・中学校全7校においてコミュニティ・スクールを導入し、事業目標についても目標を達成しました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き、地域の力を学校教育に生かすコミュニティ・スクールを推進し、町内全ての学校が信頼され、児童生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることができる学校を目指します。

作成担当課長

学校教育課主幹兼学校支援室長 畑尻 佳括

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

平成30年度から全小中学校にコミュニティスクールが設置できました。その中で、学校への信頼目標も達成できたことは大変評価できます。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き、地域とともにある学校づくりに努めます。

作成担当部長

教育部長 榎並 隆浩

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。